

ココット用窓ガラス保護シート取り付け要領書

～ 誰でもできる貼り方の手順とコツ ～

■保護シートの特徴

保護シートは、ココットを長期間使用した際の窓ガラスの曇りキズによる視界不良を防ぐものです。シートの裏側には粘着材がついているため、裏紙をはがすだけで簡単に貼り換えることができます。ただし、貼りつける際には、ちょっとしたコツが必要になります。ここでは貼り方とコツについて説明します。

■保護シート貼りに必要な道具

- タオルまたはヘラ(先端がゴム製)
- 中性洗剤、霧吹き
- 保護シート



■保護シートの貼り方



1.

下地のホコリや油汚れなどをきれいにふきとり、凹凸のない平滑な面に整えます。



2.

写真のガイドをはずします。



3.

中性洗剤を水で 50 倍に薄めた液を、霧吹きですみずみまでスプレーし、ガラス面全体を濡らします。



4.

シートの裏紙を上から 10cm ほど剥がし、1と同じ液をまんべんなく吹きつけます。



5.

上部を持って残りの裏紙をはがし、のりの付いた面に1と同じ液をまんべんなく吹きつけます。



6.

全体的にズレに注意しながら、端から端へ貼りこみます。



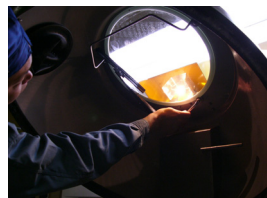
7.

フィルムの表面にも1と同じ液をスプレーし、タオルかヘラで中心から外に向けて上下左右に、水と空気を押し出しながら圧着します。



8.

最後に全体をしっかり圧着します。特に端の部分はよく圧着するようにします。



9.

最後に 2 ではずしたガイドを取り付けて、作業は完了です。



10.

空気抜きをうまく行わないと、視界不良やシートはがれの原因になりますので十分注意して下さい。

■保護シートのはがし方

保護シートは、ドライヤーで温めるとはがしやすくなります。下地に粘着材が残らない様に、ゆっくりとはがしてください。粘着シートをはがしたら、シンナーを含ませたボロ布で、下地に残った粘着材を拭き取ります。